

平成 16 年度

「調布市地域情報化基本計画推進委員会」報告書
別冊 資料集

調 布 市

平成 17 年 3 月

目次

2-1 CLIC 紹介プレゼンテーション資料	P 1
2-2 みんな de ネット 活動報告 (2004 年 4 月～12 月末まで)	P 16
2-3 調布わくわくステーション ゲスト一覧表 (2004 年 4 月～12 月末まで)	P 19
2-4 番組紹介メール	P 21
2-5 三者懇談会資料	P 43
2-6 相互塾プレゼンテーション資料	P 45

2 - 1 CLIC 紹介プレゼンテーション資料

NPO法人

調布市地域情報化コンソーシアム

[Chofu Local Information Consortium : 略称 CLIC(クリック)]

について

まずはじめに

我々が住むこの「調布」にどういう人が住んだり、働いたりしていているかを知っていて、みんなが知り合いになって、気軽に声をかけたり協力し合えるような街になれば、この街が抱える様々な問題の解決につながり、暮らしやすい街、住民が誇りと自信を持って住める街、大好きと言える街になるはずです。

当法人は、「地域情報化」を促進することが、そのような街の形成に貢献すると確信しており、その為の事業を行っていく団体です。

「NPO法人 調布市地域情報化コンソーシアム」設立の経緯

- ・調布市が2002年に「調布市地域情報課基本計画策定委員会」を設置。座長に電通大の教授を迎え、運営を電通大のTLO:キャンパスクリエイトに委ねる。
- ・策定委員会の元、市民の声を広く集めるべく、市民参加によるワーキンググループ(WG)を分野ごとに設置。
- ・2004年3月、「調布市地域情報化基本計画」を発行
- ・2004年1月、上記「基本計画」の発行準備と並行して、その実践団体の設立を検討開始
- ・2004年4月、上記基本計画を実行に移していく為、同じく電通大の教授を座長に迎え、「調布市地域情報化推進委員会」を設置。
- ・2004年9月、WG3(産業)並びにWG4(市民活動)の主要メンバーが集まり「NPO法人調布市地域情報化コンソーシアム」を実践団体として設立

「NPO法人 調布市地域情報化コンソーシアム」設立趣旨

この法人は、東京都調布市の地域社会を対象として、地域コミュニティの情報の交流の場としての「地域ポータルサイト」及び、市民の利便性向上の為に「情報収集・伝達媒体」の普及事業・啓蒙事業、これの活用に関する支援事業、並びにこれに係る社会教育事業等の社会貢献活動を行い、地域社会の問題解決、社会福祉の発展並びに地域コミュニティの活性化をもつて、暮らしやすくいと市民の利便性の向上に寄与することを目的とする。

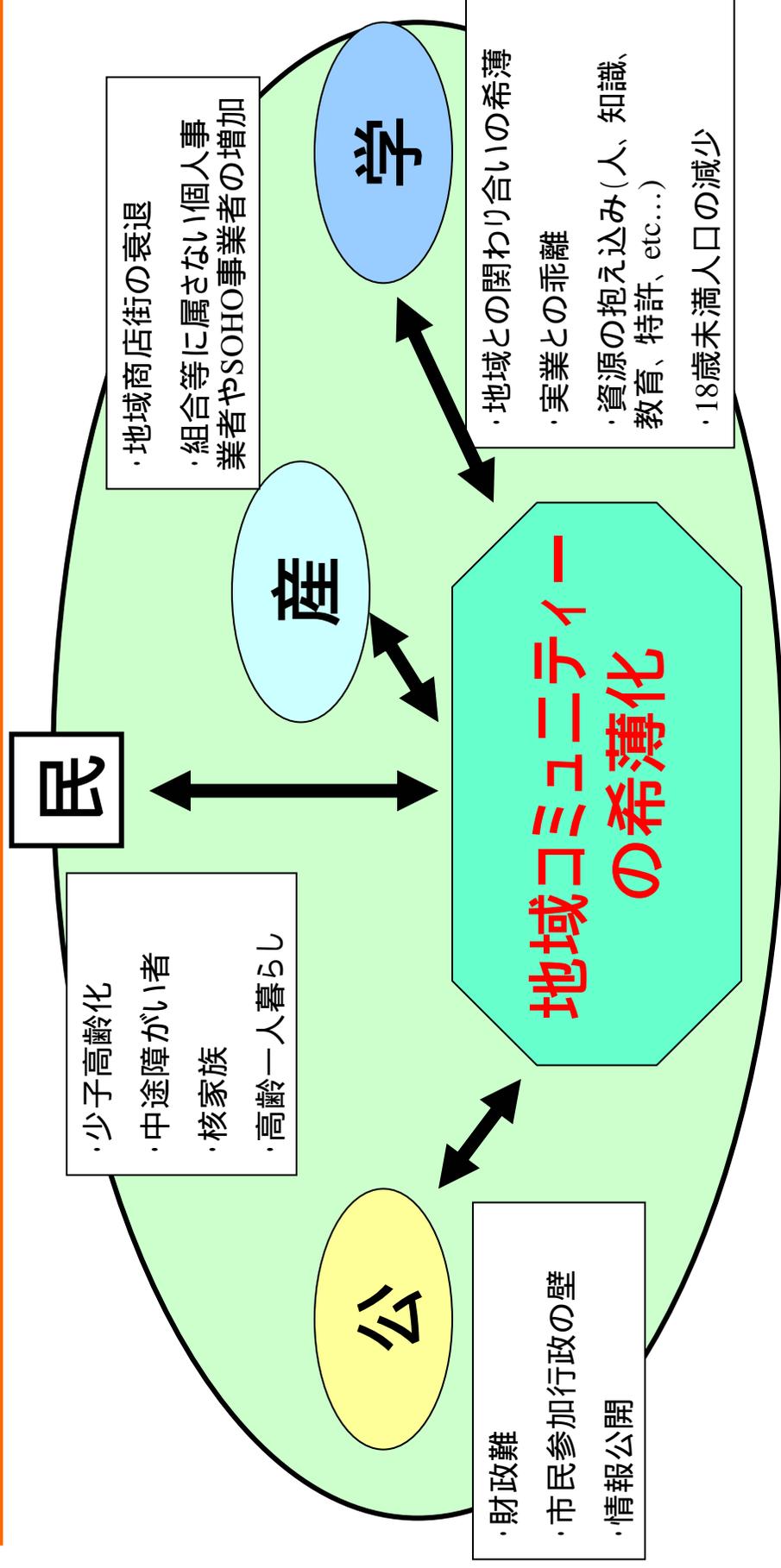
【ポイント】

・「情報化」と言ってもITだけではなくありません。紙媒体や街なかにある各種掲示板、FMやケーブルTV、防災無線、そしてクチコミ等、情報伝達に関わるもの全てが、活動の範囲となります。

情報を発信するのも受けるのも、結局は「人」です。この「人」のつながりが、情報化では最も重要と考えています。

・地域情報化により「コミュニティの活性化」を促し、地域問題の解決に貢献します。

地域問題の例とコミュニティー



「CLIC」にて、情報化を通して地域コミュニティーの活性化を促すことで、各地域の住民・事業者が抱える問題の解決に貢献

取り組んでいきたい事的具体例(情報化基本計画より)

- ・1事業所1ホームページ運動などによる、地域経済の活性化
- ・インターネットデータセンター(IDC)の設置による、産業活性化並びに災害時の市民への情報通信拠点確保
- ・「ご近所さんねっと」による市民の身近な情報資源の収集・発信と活用
- ・「地域メディア協議会」設立による、情報発信組織の連携、効率的な情報収集方法の検討
- ・「いつでも・だれでも・どこでも・かんたんに」情報の取得ができる市民のための情報化拠点づくり(ポータルサイト)

「情報化基本計画」(具体例)を実施する前に必要なこと

- ・市民との双方向コミュニケーション手段の確保
- ・各公的機関・団体より発信される情報の整理・一元化

現状：各組織がバラバラに情報発信している。

例)市は市が主催などをしているイベントのみを市のホームページで、財団は財団主催のものを財団のホームページで、等、社協も商工会も商店会も同じ・・・

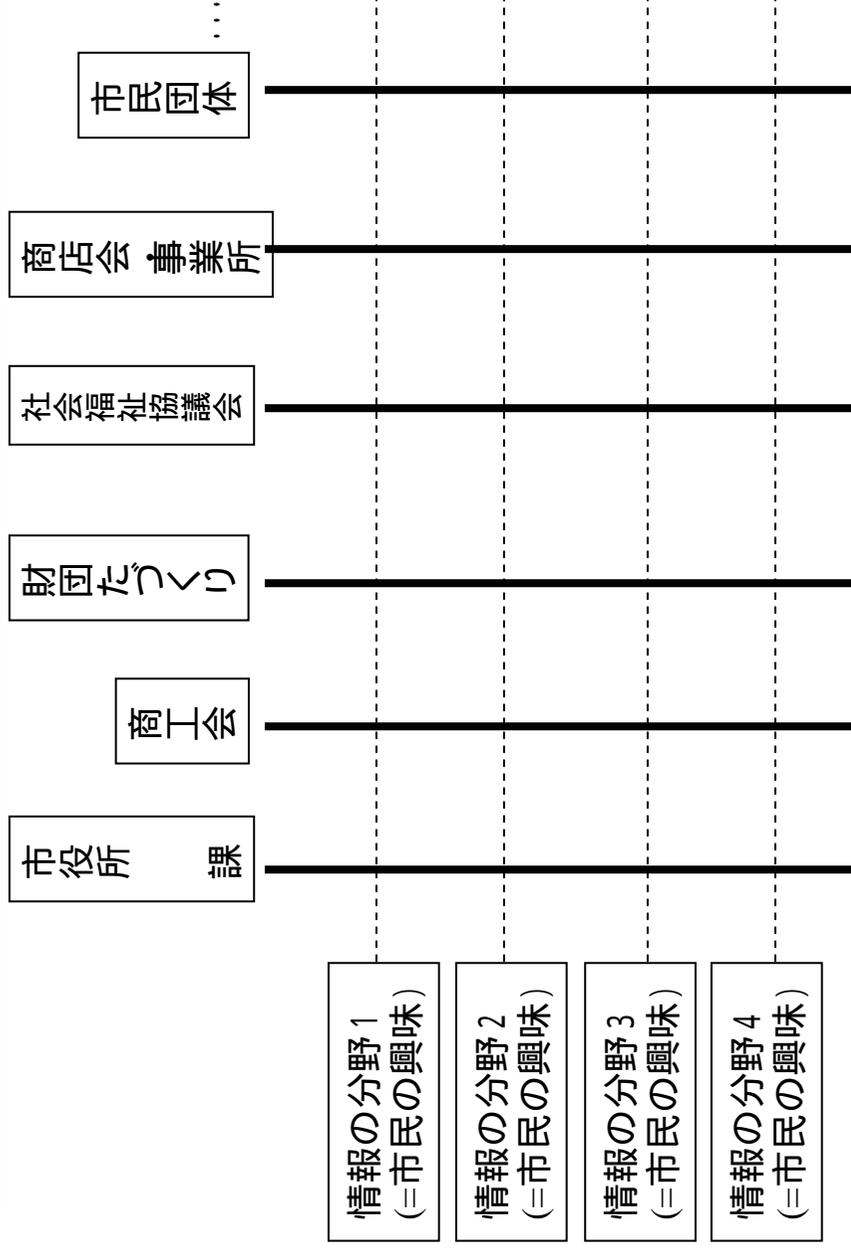
(商店会は、自分の商店会及びその会員のHPができればそれで

満足してしまっており、情報の横の連携の必要性に気づいていないように思われる。)

市民にとっては、主催がどこかなどは関係なく、必要な情報がかなり入手しづらい。

など・・・

情報の整理の必要性について1



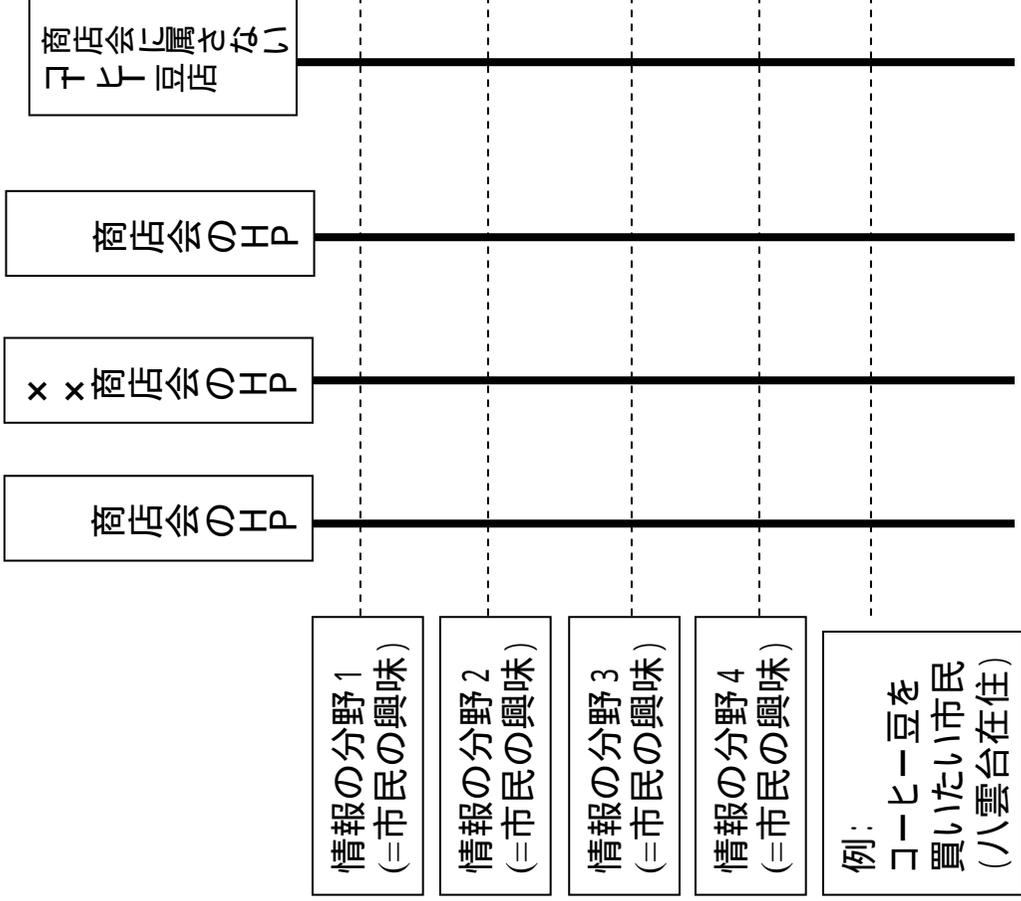
現在、情報はほとんどの場合において、か、もしくは縦のラインでしか発信されていない。これは、行政における縦割り組織、情報共有不足並びに、市民団体の相互交流の欠如によることが大きい。

一方で、市民の興味、趣味・嗜好が多様化している現代において、このような形での情報発信では、必要な情報を市民に届けられない。

地域コミュニティの活性化につながる情報化の為に、ここに横串をさしていく必要がある、横串をさしていく為には、横軸(団体の啓蒙・連携)と縦軸(市民の興味)の両方について、アプローチしなければいけない。

例：ある動物好きで市民がおり、その中でも犬に関する事なら、どんなイベントにでも参加したいと思っている市民がいたとする。
市役所では、「狂犬病」に関するお知らせ、商工会では「ペットショップ」に関する情報たづくりでは、犬の映画、社協では盲導犬の実演、事業所では、パルコ前にてワンちゃん撮影会、市民団体では、犬の躰セミナーを行っている場合、現在では、これらの情報を一度に得られない。
よって、マスメディアで大きく取り上げられるような、都内の犬のイベントに出向いてしまう。

情報の整理の必要性について2(商店の場合)



「コーヒー豆」を買いたい市民が、近所にある商店会名を知っているとは限らない。(知らない方が多い!)
 よって、商店会でホームページを立ち上げて、商店会名を知らない消費者が、その商店会のホームページに辿り着く可能性は低く、あまり効果は期待できない。

結果的に、徒歩5分でコーヒー豆を買える店があるにも関わらず、それを知らずに、調布や仙川、もしくは新宿の有名店などに足を運んでしまう。

「コーヒー豆」というキーワードで、近くのお店が横断的に探せる仕組みが必要!

また、商店会のホームページアドレスを頑張って宣伝すると、より知名度のある、情報量の多いホームページをうまく利用するのでは、費用(労力)対効果がどちらが高いかは、「楽天」や「ぐるなび」などのホームページの人气が証明している。

∴ =個店のホームページ

地域情報化によるコミュニティの活性化の課題

事業を行っていく為の一番大きな課題は運営費の捻出 【運営費の捻出方法】

1:自主財源の確保 「ちようふどつことむ」にて実証実験中

(182などのタウン誌の状況も調査・検討中)

2:公的機関が確保している「情報発信」に関する事業予算の受託

財政難の為、新規予算はほとんど期待できない、もしくはかなりの労力が必要。よって、既存の事業予算を如何に獲得するかが課題。

公的機関が行う「情報発信」は、市民のニーズとあっていない為、期待される効果が出なくなっているにも関わらず、同じような情報発信を続けて、予算を浪費している。

一方で、競争入札が浸透し、市民による構築(制作)・運営が理想とされるものであっても、市民や地域と関わりのない大手企業が価格のみで受注するケースが増えている。

この状況を念頭に置いて、行政に地域情報化の必要性を啓蒙していくと同時に、我々が実際に横の連携の鎖となって動いていく必要がある。

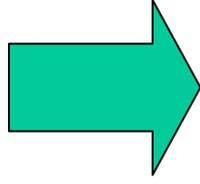
(状況調査 啓蒙及び行動(実績)によるアピール 受託獲得)

現時点での活動内容(IT分野) : 課題を解決し、具体例を実践

目的	実施方法
各公的機関より発信される情報の整理・一元化	あくろすに設置される「市民活動支援センター」のホームページ制作・運営支援を受託予定。 その中で、公共機関や市民団体が共通して使えるイベント情報発信システムを設置し、浸透させていく。 一方で、当法人役員並びに会員による公的機関や市民団体への啓蒙活動。
市民との双方向コミュニケーション 手段の確保 ・市民団体へのアプローチ	「市民活動支援センター」のホームページ内にて、調布市の協力のもと、市民団体情報(約1000件)を登録・整理する予定。
市民との双方向コミュニケーション 手段の確保 ・市民へのアプローチ	・「ちようふどっとこむ」にてメールマガジンの発行という形で、実証実験中。 ・下部組織として「みんなdeねっと」が調布FMにて市民へのインタビュ番組を制作・放送中
1事業所1ホームページ運動	・あくろすに設置される「産業振興センター」のホームページ制作を受託予定。 ・商工会「一店逸品運動」冊子制作受託予定 ・商工会「建設業部会」ホームページ受託予定

「調布市地域情報化コンソーシアム」と参加団体の関係

主に自治体(調布市)やその他公的機関等



地域情報化に関わる様々な業務を受託。但し、事業は受託事業だけでなく、自主的に進める事業もある。

NPO法人 調布市地域情報化コンソーシアム

コンソーシアムが行う地域情報化に関する様々な事業



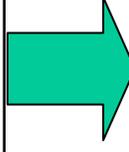
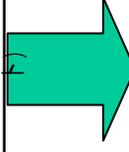
インターネット事業
(地域ポータルサイト)

情報化事業1

情報化事業2

情報化事業3

情報化事業4



NPO・市民団体

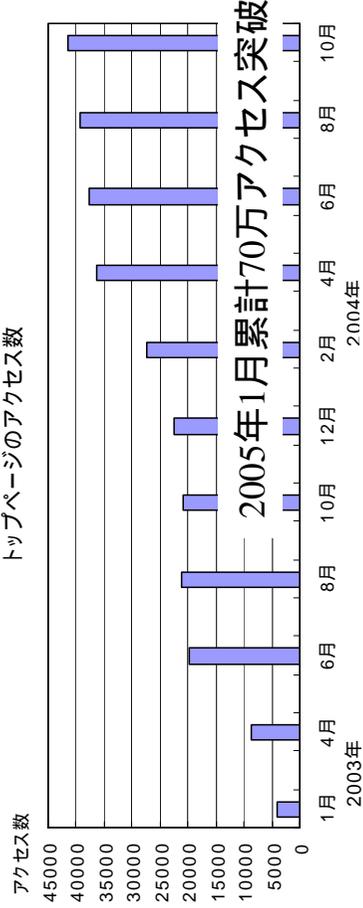


市民

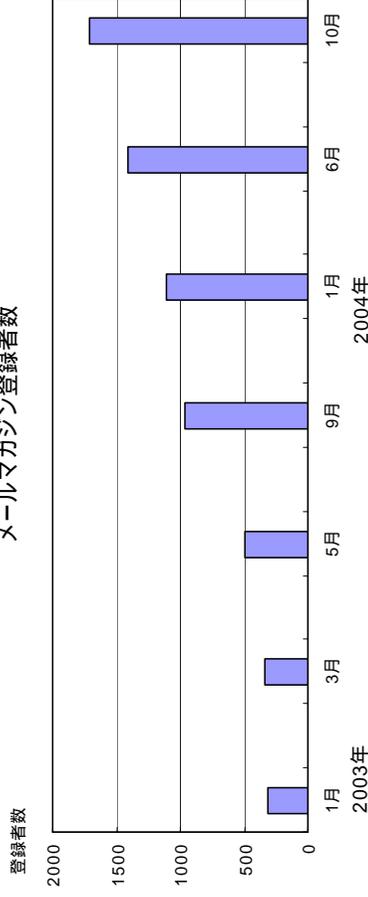
地域情報化に関する様々な事業を展開していく上で、必要に応じ、既に関連事業を行っている市民団体を支援する、もしくは直接事業を行う。

参考資料「ちようふどっこむ」の状況

トップページのアクセス数



メールマガジン登録者数

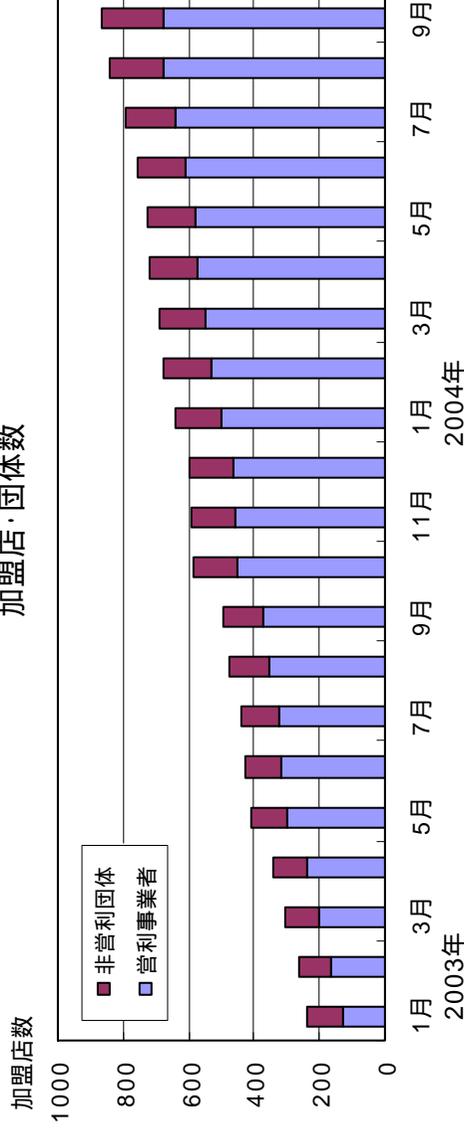


【加盟商店会】

(ちようふどっこむの機能を使って
個店のページを作っている商店会)

- ・調布銀座商栄会
- ・飛田給駅南口商店会
- ・国領商盛会
- ・つつじヶ丘商店会
- ・小島商栄会
- ・上布田商栄会
- ・仙川商店街

加盟店・団体数



- ・2005年3月：商工会建築業部会 400件追加予定
- ・2005年5月：市内市民団体 約1000件登録予定

設立メンバー

代表理事 原島芳一
副代表理事 大前勝巳
副代表理事 小林宣行
理事 矢嶋崇志
理事 尾辻義和
理事 横山泰治
理事 小山敦
監事 猪瀬和恵

は、
調布市地域情報化基本計画
推進委員会 委員

メンバーの所属団体等

【産業】

調布市商工会、同青年部
調布市商店会連合会
社団法人 調布青年会議所
若手商人塾
武蔵府中法人会、同青年部
税理士

【行政・市民】

みんなでネット
調布パソコンサークル
NPO法人 市民活動推進協会
やあやあねっとわーく
NPO法人 調布まちづくりの会
調布市地域情報化基本計画推進委員会
調布市生涯学習推進協議会 委員
調布市地域福祉活動計画策定委員会

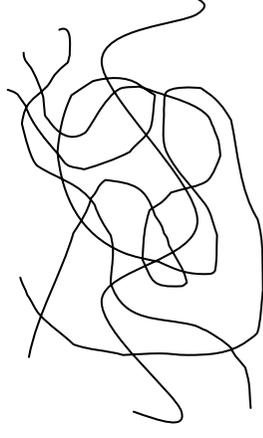
【その他】

調布市観光協会
F C 東京・調布市民の会
NPO法人 調布フィルムコミッション
NPO法人 ちよふどっとこむ
社団法人日本インターネットプロバイダー協会
NPO法人 地域ポータルサイト推進協会
地域サイトネットワーク
等

会員の募集について

「地域コミュニティの活性化」につながる地域情報化を進めていく為には、

- ・各公的団体・市民団体自体が抱える問題は何か？何を目指しているか？
- ・各公的団体・市民団体同士がどのようなつながっているか？
- ・市民は何を求めているか？
- ・調布の事業所が抱えている問題は何か？
- ・調布の生活環境はどのように変化しているか？



といった、複雑に絡み合っている糸を少しずつほぐして、必要な情報を必要の人に、いつでも・だれでも・どこでも・かたんに「届けられる仕組み」を編んでいかなければいけません。

しかし、情報という目に見えづらい分野であるのに加え、糸をほぐすのにも仕組みを編むのにも、街中にアンテナを張り巡らさないと得られない幅広い情報が必要だったり、特殊な技術が必要だったりします。

その中で、一般市民の方々に会員になって、どのように協力していただけるかについては、上記作業をわかりやすい形にできるまで、単純化しなければいけません。

既に会員規約や会費規定などはありますが、市民の方々に会員になっていただくことで、具体的にどのようなメリットが提供できるのか、どのように協働していくか、等ぜひ、皆さんの力を！